

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號三第

卷三第

論說

聯合國經濟同盟ニ對スル我國ノ態度

法學博士 戸田 海市

國防稅ノ當否(二)

法學博士 神戸 正雄

でうあつぎ・ひゆーむノ經濟學說(五)

法學博士 福田 德三

『座』ノ研究(二)

文學博士 三浦 周行

兌換券ト物價ト輸出入ノ關係ニ論ズ

法學博士 小川 郷太郎

資本ノ眞概念ノ發展(三、完)

法學博士 河上 肇

雜錄

小野塚牧野兩博士ノ新著

法學博士 福田 德三

不換紙幣流通ノ根據ニ就テ福田博士ニ答フ

法學博士 戸田 海市

びゆつひあーノ經濟發達階段ハ其獨創ニ非ズ

法學博士 神戸 正雄

最低賃金ノ制度ニ就キテ

山本美越乃

日英ノ物價

法學士 河田 嗣郎

手ノ器用ト其脩養

法學士 財部 靜治

『通俗經濟文庫』卷一ヲ讀ミテ

法學博士 河上 肇

『瀧本誠一氏ノ草莽危言摘義解題ニ就テ』ノ補遺

法學博士 鈴木 券太郎

轉

(載)

禁

大正五年九月一日發行

不換紙幣流通ノ根據ニ就テ

福田博士ニ答フ

戸田海市

不換紙幣流通ノ根據ニ關スル卑見ニ對シ福田博士カ詳細ニ論評セラレタコトヲ感謝スル。博士ノ論點ハ澤山ニアルガ、予輩之ヲ通讀シテ其全體ノ旨意ノ何レニ在ルヤヲ未タ充分ニ了解シ得ナイヤウニ感スル。本問題ニ付テ博士ハ更ニ他日詳論セラレルト云フコトテアルカラ、予輩モ亦其際ニ詳シク教ヲ乞イ度イト思フガ、博士ノ論點ノ最も重要ナルモノハ、

予輩カめたすミタルニ係ハラス、不換紙幣流通ノ根據トシテ強制通用ノ制度ニ重キヲ置クハ矛盾ニアラスヤ

ト云ハルルコトテアラウト信スル。依テ茲ニ予

輩カめたりすとタルト同時ニ強制通用制度ヲ重要視スル所以ヲ簡單ニ一言スル

前世紀末ヨリ最近ニ至ルマテ世界一般ノ物價平準カ持續的ニ大騰貴ヲ爲シタ原因ニ付キ、信用説ト産金増加説トノ論戦カ起ツタ。當時予輩ハ經濟ノ進歩ニ伴フテ信用制度ノ獨立ニ發展スルコトヲ認メナイテハナイガ、併シ現今世界經濟ノ中心ヲ爲ス所ノ白人諸國民ノ正貨ニ對ス執着力カ非常ニ強烈テアル故、正貨ノ増加ニ伴ハスシテ信用カ持續的ニ大膨脹ヲ爲スコトヲ不能ト認メ、從ツテ此ノ持續的ナル物價騰貴ノ主タル原因ハ産金額ノ増加テアルト結論シ、以テ予輩ノめたりすとタル立場ヲ明カニシタノテアルガ、貨幣流通ノ最後ノ根據ニ付テモ予輩ハ同シ理由ヨリめたりすとデアル。最モ我國民ヲ世界經濟ヨリ切り離シテ孤立セルモノト想像シタナラハ、其社會ノ進歩ニ伴フテ正貨ト全然無關係ノ紙幣カ流通シ得ルコトヲ考ヘ得ナイテハナイガ、實際ニ於テ我國民モ世界經濟ノ一部ヲ組織シテ生存スル以上ハ矢張りめたりすとノ傾向ヲ

脱却スルヲ得ナイト信スル

めたりすとノ立場ヨリ見レハ兌換券タルト補助貨幣タルト不換紙幣タルトヲ問ハス、材料ノ價値ノ不充分ナル物體ハ社會一般ヨリ正貨ノ代表物ト認メラレナクテハ流通スルヲ得ナイ。然ラハ社會ヲシテ此ノ如キ物體ヲ正貨代表物ナリト認メシムルノ方法ハ如何ト云ノニ、其ノ最モ重要ノモノハ二ツアル。一ハ其物體ニ對シテ正貨兌換ヲ行フコトテアル。最モ兌換券ニ付テモ國家カ之ニ強制通用力ヲ與ヘルコトヤ、之ヲ國庫收納ニ付テ受入レルコトカ其流通ヲ助クル場合カ多イノテアルガ、兌換券流通ノ根底ハ社會一般カ發行者ノ兌換能力ヲ信用スルコトテアル。他ノ一ハ國家カ其物體ニ對シ流通保證ヲ與ヘルコトデアツテ、此保證ノ最モ有力ナモノハ法律ニ由リ其物體カ貨幣債務ノ辨濟ニ付キ正貨ノ代リニ辨濟力ヲ有スト定メルコト、即チ之ニ強制通用力ヲ附與スルコトテアル。貨幣經濟ノ進歩シタ社會ニ於テハ何人モ貨幣債務ヲ有セサルハナシト云フ有様テアルガ、法律ニ由リ一般人カ

或物體ヲ其貨幣債務ノ辨濟ニ使用シ得ルコトヲ保證セラレルト云フコトハ、一面ニ又一般人ヲシテ安シテ他人ヨリ其物體ヲ正貨ノ代リニ受取ラシシムル原因トナツテ、其物ノ流通力カ情勢ノニ維持セラレル。國家カ強制通用力附與ヲ宣言スルノ行爲ハ一時的ノモノテアルガ、國權ニ由リ之ヲ保證スルノ作用ハ永續的テアル。國家カ租稅其他ノ國庫收入ニ付テ正貨ノ代リニ之ヲ受取ルコトヲ定メルノモ、亦強制通用力附與ト同シク之ニ流通保證ヲ爲スノ一方法テアル。貨幣經濟ノ尙ホ幼稚ナリシ時代ニ於テ價格移轉ノ只、又ハ最要ノ場合ハ貢納ヲアリ、從ツテ貨幣發達史ノ上ニ於テ或物體カ國家ヨリ貢納要具ト認メラレルト云フコトハ貨幣流通力ノ維持ニ付テ甚々重要テアルガ、既ニ貨幣經濟ノ發達シタ社會ニ於テ補助貨幣ヤ紙幣ニ對シ國家カ流通保證ヲ爲スニ付キ、此方法カ強制通用力ノ附與以上ニ重要テアルトハ認メラレナイ。又此方法ノ重要ナル所以ハ國庫收納ノ數量ノ關係ノミニ由ルノテハナク、國民ニ對シ流通ヲ保證シテ安

心セシムルト云フ精神的作用ヲ生スルコトテアル。金額上ヨリ云ヘハ往々國庫收入上重要ノ地位ヲ占ムルモ、之カ納入ニ付テ一般人トハ關係ノ少ナキ關稅收入ニ付キ不換紙幣ノ受領ヲ拒絕シテモ、此事ニ必シモ其紙幣ノ流通力ヲ別段ニ毀損シナイト云フコトハ注意スヘキ事實テアル。

不換紙幣カ正貨代表物トシテ社會ヨリ迎ヘラレル爲メニハ、紙幣ノ方カ正貨ヨリモ取扱ヒニ便利テアルトカ、紙幣以外ニ適當ナル貨幣ノ供給ヲ得ルコトカ困難ヲアリ、從ツテ紙幣ノ流通ヲ拒メハ日常ノ取引ニ非常ノ困難ヲ生スルトカ又ハ世人一般カ既ニ相當ノ紙幣ヲ所有スルヨリ互ニ其流通ヲ圓滿ニシテ成ルヘク其價值ヲ失ハシメサルコトヲ欲スルト云フカ如キ、紙幣ノ存在ヲ欲スル根本的ノ事情ノアルコトヲ必要トスル。國家カ之ニ強制通用力ヲ附與スルトカ、國庫收納ニ付テ之ヲ受領スルト云フカ如キコトハ其流通ニ付キ保證ヲ與ヘテ安心セシムルト云フ補助的作用ヲ爲スノテアルコトハ前ニ論シタ。

紙幣ノ流通力カ如何ニシテ維持セラルルヤヲ研究スルニ方リ、吾人ハ常ニ此根本的ノ民意ヲ云フコトヲ眼中ヨリ逸シテハナラヌ。又國家ハ法律制定者テアリ得ルト同シク紙幣發行者テアリ得ルガ、而モ予輩カ國家ヲ以テ流通力創造者ト云ハスシテ之ヲ流通力保證者ト稱スルノハ之カ爲メテアル。此ノ如ク制限セラレタル意味ニ於テ予輩カ強制通用制度ヲ重要視スルコトヲ以テ、彼ノ極端ナルかるたりすト以上ニ突飛ナ思想テアルトハ考ヘナイ。予輩ハ貨幣流通力ノ維持ニ關スル國家ノ力ヲ萬能視スルヲ欲シナイト同時ニ、國家カ之ニ付テ當ニ其ノ行フヘキ所ヲ用意周到ニ行フコトハ決シテ體裁ヤ虛名ノ爲メテナク、民心ニ重要ノ影響ヲ及ホスモノテアルト信スル

國家カ材料ノ價值ノ不充分ナル物體ヲ正貨ノ代リニ使用シ得ルコトヲ認ムル總テノ方法ハ、之ニ由テ正貨ヲ節約シ又ハ正貨ノ喪失ヲ防止スルト云フ消極的作用ニ由リテ世人カ之ヲ正貨代表物ト認メルコトヲ保護スルノデアルガ、此種ノ

物體カ流通スル場合ニハ二種アル。一ハ正貨兌換券ト相並ヒテ流通シ、即チ正貨兌換券ノ地位ノ一部分ヲ填充スル場合テアツテ補助貨幣ノ流通ノ如キカ是デアアル。他ノ一ハ普通ノ不換紙幣ノ場合ニ見ルカ如ク正貨兌換券ノ全部カ流通ヨリ隠レテ代表物ノミカ之二代ツテ流通スル場合デアアル。若シ予輩ノ信スルカ如ク世人一般カ強キめたりすとノ傾向ヲ有スルモノトスレハ、世人ハ此ノ如キ不換紙幣ヲ以テ一時的ノ變態トシ、之ヲ永久ノ存在物ト認メナイト結論スヘキヤウデアアル。只不換紙幣ヲ以テ必シモ此ノ如キ種類ノモノニ限ルヲ要セス、今日ノ社會ニ於テモ補助貨幣ノ如ク永續的ノ制度トシテ或範圍ニ成立シ得ルコトハ考ヘラレル。我國ニ於ケル日本銀行ノ一圓券ノ如キハ必シモ一時的ノ變態ト考ヘラレテ居ナイヤウデアアルガ、貨幣制度ノ上ニ種々ノ變態ノアルコトハ他國ニモ其例カ少ナクナイ。佛國ニハ材料價值ノ乏シキ銀貨カ本位貨幣トシテ流通シテ居ルカ、是モ一時的ノモノトシテ存在シテ居ルノテハナイ。將來此銀貨ニ

代ユルニ紙幣ヲ以テスルコトモ想像シ得ナイテハナイ。獨逸ニハ帝國々庫證券カ久シク流通シテ居タ。從來ハ之ニ強制通用力ヲ與ヘテナカツタガ、今後之ヲ附與スルコトモ考ヘラレナイテハナイ。又今回ノ戰爭ニ由テ英國ノ如キハ兌換券ノ外ニ巨額ノ政府紙幣ヲ發行シテ居ルガ、戰後其一部分ハ永續的性質ヲ與ヘテ流通セシムルコトモ想像シ得ラレナイテハナイ。若シ此ノ如キ紙幣カ成立シタトスレハ、其ハ補助貨幣ト同様ニ正貨兌換券ト相並ンテ永續的ニ流通スルモノテアルガ、從來ノ觀念ニ由レハ盡ク之ヲ補助貨幣ノ一種ナリト云フヲ得ナイ、寧ロ特種ノ紙幣トスルヲ適當トスル。併シ予輩ノ見ル所ニ由レハ普通ノ不換紙幣ト茲ニ想像スル特種ノ不換紙幣ト補助貨幣トハ其性質ニ於テ頗フル相類スル所カアル。從來貨幣ノ性質ノ研究ニ付キ普通ノ不換紙幣カ最モ多ク注目セラレタヤウテアルガ、予輩ハ更ニ補助貨幣ヤ之ニ類似スル紙幣ヲモ汎ク研究ノ材料トシテ注意スルコトヲ一層有益テアルト信スル